

エコワンポイント

ブレーキの「キーキー音」は警告サイン？

窓を開けて走る機会が多くなるこの季節、爽やかな風とともにドライブを楽しむ方も多いのではないのでしょうか。しかし、ふと耳を澄ませたときに、愛車から「キーキー」という高い異音が聞こえてきたら注意が必要です。それは、ブレーキパッドが磨耗していることを知らせる重要な警告サインかもしれません。

実は、このサインに気づいた段階で早めにブレーキパッドを点検・交換することは、お財布に優しいだけでなく、環境負荷を減らす立派な「エコメンテナンス」につながります。もし摩耗を放置したまま走り続けると、ブレーキローターと呼ばれる金属部品まで削れてしまい、高額な部品全体の交換が必要になります。鉄はリサイクルできる資源ですが、部品を新しく製造・再資源化する過程では、非常に多くのエネルギーが消費されます。

手遅れになる前にパッドだけを適切に交換し、ローターなどの部品を長く大切に使うことこそが、製造や加工に伴うCO₂を削減できる最もエコな選択です。「あれ？」と少しでも異音に気づいたら、愛車と地球のために、ぜひお気軽にブレーキの点検にお越しください。皆様のご来店を心よりお待ちしております。

キーキー音が鳴れば、きちんと点検しましょう♪



ピットサークル燕店 CMC中越モータース株式会社